

コンプライアンスどころか倫理観すらない

村八分を
超えた

圧力と脅迫の脱退強要！

大崎運輸区分会からの報告です

「村八分」に発言は本心だった！
その証拠に現場長自らが、組合員に
対して高圧的に脱退を迫る。
「村八分」よりひどい！

会社の発表会の懇親会ならば、本
来は努力した社員を労うべき場所。
その努力した社員に脅迫まがい
に執拗に脱退を迫るなんておかし
い。人としてもあり得ない！

サービス発表会で努力しても、組
合の所属しか見られていない！
努力しても正しく評価されない。
現場長の仕事は社員を組合から
脱退させることなのか？

管理者が数人いたのに誰も現場
長を制止していない。もはやコンプ
ライアンスを語る資格はない！

言われ続けた組合員は本当に辛
かった。人の心を壊す現場長・管理
者は早く職場から去ってほしい！



無かったことには出来ない！
悪事は必ず明らかになる！

勇気を持って告発した仲間と共に、不正と闘おう！

11/20 品川地区サービス発表会で奮闘した
分会組合員が、懇親会の中で会社側複数の人から、
以下の言葉を浴びました。

区長 と 地区指導センター所長から

- 「まだ組合を辞めていないの？」を20回以上
- 「いつ辞めるの？早く辞めろよ」を20回以上
- 「賃金控除停止依頼書を出せ」
- 「東労組は国労になる」
- 「転職の希望があれば(組合を)辞めないと出せない」
- 「どうでもいい奴には言わない」
- 「お前が必要だ、お前を頼んでくれ、お前に期待をしている」

この席には副区長2名と助役数名もいたが、このコンプラ違反について誰一人として制止する姿はなかった。分会組合員は気丈に振る舞ったが、心境は「圧力と恐怖」と明らかにしている。私達は会社による不当労働行為を許さず、勇気と信念を持って告発してくれた組合員を皆で支え合い、健全なJR東本と安心感ある輸送職場づくりを目指していこう！！

～2005年4月25日、JR西日本福知山線脱線事故より～
事故当日、天王寺駅区では区長含め43名の社員で、ホリウ大会と懇親会が行われていた。「何故、誰も中止を言わないのか」の世論に、調査の結果多くの社員から「目上の人に言わずらかった」と証言が出され、JR西日本の企業体質が「上長の権力集中主義」であることが明らかになり、社会からの信用を著しく失墜することになった。